

事務事業名	道路改良事業（市道4040号線）			担当	建設部 建設課 道路建設係	
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり		電話番号	0285-83-8149	
施策名	05	道路ネットワークの整備		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）	
予算科目	1.一般会計	8.土木費	2.道路橋りょう費	3.道路新設改良費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（平成23年度～平成27年度）	
事業概要	・長田・柳林地内、国営幹線勝川水路東側、市道251号線北側の延長約170m区間及び北開道トンネル付近の延長約450m区間の集落内生活道路について、幅員5.0mに拡幅整備する事業である。					

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 25年度実績 *南工区（L=170m） ・物件調査、物件補償、用地買収 26年度計画 *北工区（L=450m） ・路線測量、詳細設計 *南工区（L=170m） ・道路改良工事、物件補償、境界杭設置	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
	ア：道路改良工事延長	m		0	0	0	170	
	イ：用地買収	件		0	0	1	0	
	ウ：物件補償	件		0	0	1	1	
エ：測量、設計等業務委託	件		2	1	1	0		
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・道路利用者（市民）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
	ア：道路利用者（市民）	人	82584	82136	81511	80929	80698	
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・安全で円滑な交通の確保	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
	ア：整備率（事業費ベース）	%		5	9	37	52	
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・道路ネットワークの整備	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
	ア：市道改良率	%	72.1	72.4	72.5	72.6	72.6	
	イ：道路の整備状況が良いと感じている市民の割合	%	70.0	59.7	61.6	62.1	62.6	
	ウ							
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	2,940	2,993	17,423	0	
	事業費計(A)	千円	0	2,940	2,993	17,423	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	0	30	30	30	0
		人件費計(B)	千円	0	127	126	122	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	3,067	3,119	17,545	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・平成20年2月、平成21年4月に、地元区長及び関係者から拡幅要望書が提出されたことによる。 ・平成21年7月市生活道路事業採択評価委員会にて路線の評価を行い、事業の優先順位を決定している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・地域住民から早期完了を望まれている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・狭隘な道路を解消し、安全で円滑な交通を確保することは、道路ネットワークの整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は不特定多数の人が利用するものであり、市が行うことは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・道路利用者の連絡道路として、また地域住民が生活道路として利用する道路であり、対象は適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・計画どおり進行している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・廃止・休止した場合、道路利用者及び地域住民は、通行に危険である狭隘な道路を通行しなければならない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない ・現道を拡幅整備するものであり、道路改良事業以外方法はない。 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・測量・設計業務について、適切に実施しており削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・事業説明会から設計・監督業務まで必要最小限の人員で行っている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は、不特定多数の人が利用するものであり公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							